

小川駅西口新公共施設等の概要

1 小川駅西口新公共施設等に係る概略

(1) 市が取得する施設

- ・小川駅西口地区では、組合施行による再開発事業が進められている。
- ・この再開発事業により、施設建築物（再開発ビル）や駅前広場等が整備される。
- ・市では、以下の施設を取得する。

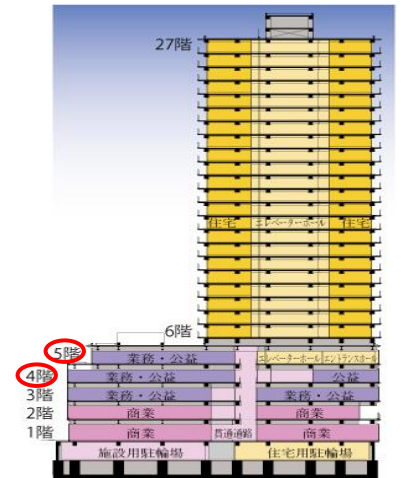
- ・公共床（約3,450㎡）…再開発ビルの4階・5階の一部
- ・（仮称）小川にぎわい広場（約1,000㎡）…再開発区域の北西側の広場



再開発区域（約1.2ha）



再開発ビルのイメージ（小川駅西口地区市街地再開発組合ホームページより）



(2) 新公共施設（公共床に整備する施設）の機能

既存の施設から 移転する機能	西部市民センター（西部出張所、小川西町図書館・公民館） 市民活動支援センター（あすぴあ） 男女共同参画センター（ひらく）	「小平元気村おがわ東」内に 所在する施設（機能）
新たな機能	キッズスペース、カフェ、個人向け貸出スペース、 スタジオ（防音）等	

(3) 施設取得のねらいや、新公共施設のコンセプト等

- ・にぎわいの創出や利便性の向上等をねらいとして施設を取得することとした。
- ・多世代の多様な活動が重なり合い、将来的には統合を目指していくパイロット的な施設と位置づけ、回遊や滞在による、にぎわいの創出を目指す。
- ・新公共施設（4階・5階の公共床）全体のレイアウトコンセプトを「本と多様な活動が重なり合う創造空間」とし、4階は「利便性の向上と子育て世代の利用促進」、5階は「開放的で多様な活動の共存」をレイアウトコンセプトにしている。

2 事業の流れ（令和3年11月以降は予定）

平成30年5月 (市民参加)	市が公共床等を取得することについて公表 ・中央・小川デザインカフェ（ワークショップ） ・利用者・利用団体ヒアリング ・アンケート、出前授業 ・素案の方向性（オープンハウス、説明会） ・素案（市民説明会、意見募集（パブリックコメント））
令和元年12月	「小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備基本計画」策定
令和2年1月 (市民参加)	基本設計業務委託（令和2年1～10月） ・基本設計レイアウト案 意見募集 ・基本設計修正レイアウト案 意見募集等
10月 (市民参加)	基本設計レイアウト完成版 公表 ・オープンハウス
令和3年1月	実施設計業務委託（令和3年1～11月） ・実際の施工に向けた詳細な設計を作成 ・市民意見も踏まえ、通路幅等のバリアフリーにも配慮
9月	債務負担行為の設定（一般会計補正予算 第8号） 「小平駅西口新公共施設取得事業 35億8千万円（令和3～7年度）」
11月	実施設計 完了
令和4年	権利変換（計画認可、期日到来） 公共床取得に係る契約締結（再開発組合から市への譲渡契約） 除却（解体）工事開始
令和5年	建築工事着工
令和7年以降	再開発ビル竣工、新公共施設開設

3 小川駅西口新公共施設等に係る今後の主な検討事項

<ul style="list-style-type: none"> ・新公共施設等で提供するサービスや事業 <ul style="list-style-type: none"> →各機能の相乗効果 →大学や企業との連携 ・管理運営について <ul style="list-style-type: none"> →開館時間、開館日 →運営体制（指定管理者制度導入の検討も含む） →施設（広場含む）利用のルールやイメージ、利用者（市民）の関わり 等 ・今後実施する市民参加の内容や時期 ・既存施設から新公共施設への機能移転に係る具体的な工程
--